

学校運営協議会 議事録

校名	府立たまがわ高等支援学校
校長名	坂田 定之

開催日時	令和6年12月18日(水) 10:00 ~ 11:30
開催場所	たまがわ高等支援学校 会議室
出席者(委員)	協議会委員4名 会長：土口千恵子(四天王寺大学 教授) 副会長：安藤敦子(府立たまがわ高等支援学校 PTA会長) 【以下五十音順】 奥村貴寿(ハウスあいファクトリー株式会社 代表取締役社長) 中村一誌(稲葉第一自治会 会長)
出席者(学校)	事務局員8名 坂田定之(校長) 今坂真悟(教頭) 吉岡宗一(事務長) 勝井玲奈(首席) 川島秀文(首席) 有馬成人(地域支援部長) 中島武彦(進路指導主事) 高橋唯(生活支援部長兼保健主事)
傍聴者	なし
協議資料	〈資料1〉学校経営計画進捗状況について 〈資料2〉学校教育自己診断について 〈資料3〉授業アンケートについて 〈資料4〉進路状況について 〈資料5〉学校生活について
備考	

議題等(次第順)

- (1) 「学校経営計画」進捗状況について (2) 「学校教育自己診断」について (3) 「授業アンケート」について
(4) 報告事項 ①進路状況について ②学校生活について ③その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- (1) 「学校経営計画」進捗状況について
3 本年度の取り組みの自己評価について(途中経過報告) 主に未達の項目について説明
・枚岡樟風高校チーム会議は年明けに設定 ・広報ミニブックは年度内に完成後、来年度配布予定 ・16期生離職者の割合は11月末現在5%
・ICTを活用した授業は年度末には目標指標9割以上を超える予定 ・大阪大学との連携事業においては現地での作業ができなかったが、リモートでの技術提供を行う予定 ・教員向け図書閲覧伸び悩む
- (2) 「学校教育自己診断」について(報告)
【生徒対象アンケート】 「学校に行くのが楽しい」の数値が減少している。入学してくる生徒の状況の変化も一因かもしれない。授業の進め方の見直しを検討していく。また、アンケート内容の理解不足もあるため、説明を入れながらアンケートを取る必要があるかもしれない。
【共生推進教室対象アンケート】 母数が少ないということで数値の結果を考察するには難しい点もある。本校での取組をどう保護者に伝えるかは検討が必要である。
【教職員】 「教育について教職員で日常的に話し合っている」「学習の形態について話し合う機会がある」の数値が減少している。
- (3) 授業アンケートについて(報告)
横ばい 昨年度はコロナ禍で制限されていた授業が再開したので昨年度の評価が高かったと思われる。これを受けての今年のアンケートであるので、昨年度並みとの結果は悪くはないと思われる。
- (4) 報告事項
①進路状況について 17期生の進路状況を説明
②学校生活について
1) 「生徒心得」「安全で安心な学校生活を送るための約束」
2) 制服の着用について 生徒と保護者にアンケートを取ったが、デザイン、色等、現制服の満足度が高いので、着心地や機能性を向上させるマイナーチェンジをしたい。
- 【協議】
・授業アンケートは一般教科と専門教科とに分けて取っているのかという質問に対して全教科別にアンケートを取っているという説明を行った。
・教職員のアンケート結果で数値が下がっている設問は民間も同じ。働き甲斐と働きやすさは表裏一体で悩ましい問題。一方、「教職員間で気軽に話し合える人間関係ができていく」の数値が上昇している。話し合う組織に変えようとしているのがうかがえる結果がある。支援学校はチームで仕事をするので連携が重要。相反する結果が出ないように設問の仕方と回答の流れに工夫してはどうか。
・制服に関して企業はカジュアルスタイルがトレンドだが、ネクタイをしめる機会を覚えることも必要かなと思う。式典等必要に応じてたまがわフォーマルを上手に活用してもらおうと思う。
・生徒心得(案) その1 社会のルールを守り・・・相手の気持ちを考えることを先に書いてはどうか。社会では自分自身の行動より相手の気持ちを考えて行動することが優先されるだろうから。
・生徒心得(案) のスマホに関する事項について、製造業では勤務時間中はスマホは触らないし持込むことも不可。休憩時間のみ利用可。若い世代はスマホの過度の使用により勤怠にも影響がある人も多いため、学生のうちからメリハリある使用を心がけてほしい。
・保護者からスマホに緊急連絡を入れることもある。校内でスマホを確認できたなら助かることもある。
・スマホの使い方を学ばせるという点では昼休みのみ可能にするとか生徒たちがどんな決まり事をすればよいか生徒自身で話し合ってもらってはどうか。
・近隣の小中学校の児童生徒の中には登下校中スマホを見ながら、ゲームをしながら登校しているこどもたちがいる。また、通学路の歩道を横並びで通学することも多いため、自転車も片手ハンドル・逆走・2人乗り・信号無視・イヤホンなど危険運転することも多いため見かける。
・共生推進教室対象学校教育自己診断アンケートについて、個々の意見は貴重であるし、学びや気づきがあるので、共生との連携ということを考えると今後もアンケートを取る意義はある。共生の保護者は設置校では障害者就労に関する情報も少なく不安があると思われるので本校の保護者との交流ができる機会を設けてほしい。

次回の会議日程

日時	令和7年3月
会場	たまがわ高等支援学校